学校番号	3032B

令和８年度　　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	（学）福祉のための美術	単位数	1	年次	３年次後期
使用教科書							
副教材等	教科作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な自然環境や生活環境とデザインの関わりに対して関心を持ち、いろんなものや建物、風景などへの美術（デザイン）的な成り立ちを見て、それをより創造的な表現や実用性を工夫し、また鑑賞に生かす。

２　学習の到達目標

・自然環境や生活環境とデザインの関わりについて理解を深め、基礎的な知識や技能を身につける。
・より安全で美しく快適な環境を創造するための実践的能力を身につける。
・生活環境と学んだこととの比較を行い、社会福祉の分野だけでなく広い視野で考えようとする態度。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身の回りにある建物や町並みなど、私たちを取り囲む環境のデザインについて学び、またその環境に配慮したデザインを学ぶことにより、福祉を推進するにあたり必要な具体的な知識及び技能をもてるようになる。	環境デザインを意識した色や形で作品を制作し、ユニバーサルデザインを生かした作品を制作し、パッシブソーラーシステムを取り入れた住宅模型を製作することなどの実践体験を通して、生徒が常に福祉的な観点を持って作品を考え、表現できる力を持つようにする。	身近な自然環境や生活環境とデザインの関わりに積極的に関心を持つようになり、様々な作品を積極的に鑑賞するようになることから、社会福祉の分野にとどまらず広く人々が幸せに生きることを考えながら今後の人生を豊かに歩めるような社会人になることを目標とする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	題材の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期		環境デザイン① ワークショップ 環境デザイン②	a.環境デザインについての基本的な知識をもち、適切にデザインに活用できる。 b.ユニバーサルデザインについて理解し、色や形についての環境デザインについての知識を生かしながら、福祉的な視点をもってデザインできる。 c.表現したいことを伝えるための技能を身につけようとしている。	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート